

会員の皆様へ

# 山技振だより

No. 6

山陽技術振会

広報委員会・会事務局

Tel.(086)422-6655

Fax.(086)422-6656

sangisin@po.harenet.ne.jp

## 主催イベント予告

- 工場見学** 11月1日(月) 1330~1630 (株)林原生物化学研究所 感光色素研究所  
感光色素の研究開発からスタートし、現在は最先端技術の情報記録材料や医薬品事業までを独自に展開しておられる現場を訪問し、研究開発型企業のありかたを勉強しよう。(詳細別紙)
- 外国科学技術雑誌を読む交流会** 10月29日(金) 1730~1830 倉敷駅西ビル8F  
藤原が担当してPopular Scienceの「携帯電話と日常生活」について。気軽にご参加ください。希望者は連絡ください、資料をおくります。
- 品質工学セミナー** 12月9日(木)~11日(土) 倉敷商工会議所 受講料25,000円  
(前に11月9日からとしたのを変更)これから募集します。

## 共催イベント予告など

- 「工業所有権に関する無料相談会」** 12月15日(水) 1000~1200 本会事務局  
弁理士 香本薫さん担当。発明協会と共催。どんな相談でも自由ですので、ふるってご参加ください。希望者は事務局までご連絡ください。
- 「特許流通フェア'99 in HIROSHIMA」** 11月16, 17 中国通商産業局  
開放特許の有効活用による新規事業の創出を目的として展示会、技術説明会、講演会、特許電子図書館、無料相談などを行う。希望者には詳細資料を送ります。

## 事務局だより

- 技術交流会** 9月21日 淵上吉男さんのオゾンの話。参加人員21人。  
オゾンと陸上生物誕生からオゾンホール。オゾンの物理化学と殺菌、脱臭への利用などの説明があり、原理や応用について活発な質疑が続き、交流の実を上げた。
- 品質工学交流会** 10月2日 参加人員13人  
講師の伊木、田中、梶谷などを中心として、土曜日の午後にもかかわらず4時間の熱心な討論が行われた。次回は11月20日。
- 財務委員会** 9月17日 委員6名全員出席。現状報告と田中副委員長による5年間の分析があった。補助金や会員の減少で財政は厳しく、法人会員の増加を積極的に行うしかない。同時に事業の内容充実、セミナーも考えるべきなどの意見が出た。事務局も努力するが会員の応援を願うや切。
- 企画・広報合同委員会** 9月22日 会長、委員10名(5名欠)  
会長は山技振創設の精神は保持して、次世紀へ向けての新しい企画を出してほしいと要望。先日の財務委員会の報告。事業計画のスケジュールと内容の検討。「山陽技術雑誌」の編集規定案と投稿規定案を審議して決定した。それにつれて編集チームを選出。編集長 安井、企画より山口、山崎、広報より小山、平松、事務局より藤原。
- 「山陽技術雑誌」の原稿募集中** ~11月末  
報文、エッセイ、感想文など何でも歓迎。ふるってご投稿ください。投稿規程ができましたので、希望者にはお送りします。
- 工業振興補助金の申請** ~来年1月  
国や県の中小企業向け来年度の補助金申請の締切は来年1月です。希望者は早めに提出してください。不明な点をご相談に応じます。